



宮城県遊技業協同組合
「被災地の子ども・高齢者等を対象とした
社会貢献活動」事業



宮城県遊技業協同組合
理事長
竹田 隆さん

選考理由

社会貢献活動審査委員会
委員
野口昇氏



宮城県遊技業協同組合は、「被災地の子ども・高齢者等を対象とした社会貢献活動」を多岐にわたって実施されてきた。平成26年においても、感謝デー実施の収益金を含め合計約550万円にのぼる資金によって、被災地の養護施設への支援や震災復興支援グループを通じて幼稚園等へ救命胴衣を贈呈されてきた。このほか、暴力団排除活動、特殊詐欺防止活動、盲導犬育成支援活動など多方面にわたる社会貢献活動に参加協力されて、地元的主要メディアにもたびたび取り上げられてきた。従業員の方々のボランティア活動も含めて、同協同組合の社会貢献を高く評価したい。

将来を担う子どもを支え、
高齢者の犯罪被害を防ぐ

児童養護施設や家庭養育施設に資金を寄贈

子どもや高齢者、障がい者や母子あるいは父子家庭など、いわゆる社会的に弱い立場に置かれた人々をサポートすることの大切さは、いつ、どんな状況であれ変わらないが、東日本大震災に見舞われた地域では、より一層、そうした人々への支援や援助が必要である。宮城県遊技業協同組合(以下、宮遊協)では、これまでも被災地の復旧・復興のためにさまざまな支援を行ってきたが、昨年は、特に子どもと高齢者を対象にした新しい社会貢献活動に取り組んだ。

その一つが、気仙沼市にある児童養護施設「旭が丘学園」に対する運営資金の寄付である。この施設は同名の社会福祉法人が運営しており、両親あるいは家庭に諸般の事情がある児童、保護者のいない児童、虐待されている児童など、乳児を除く満1歳以上、満18歳未満の約70名が入所している。これまでは地元企業などからの寄付等によって運営していた。しかし、東日本大震災によって気仙沼市の基幹産業である水産加工業の多くが被災し、現在は個人の善意による寄付に頼らざるを得ない状況にあることが気仙沼地区組合長から報告され、役員で協議した結果、100万円を同学園に寄付することになった。

さらに、昨年は、大震災で親を失った子どもたちはもとより、親の病気や経済的理由など、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちに、育親(いくおや)が親代わ



「旭が丘学園」へ運営資金を贈呈する



育親による家庭養育を行う「子どもの村東北」への寄付

りとなって、親がいる家庭と同じような環境のもとで養育することを目的に、仙台市太白区に設立されたNPO法人「子どもの村東北」に対して、施設建設・運営資金50万円の寄付を行った。同法人は、「すべての子どもに愛ある家庭を」をスローガンに活動を続ける国際NGO「SOS子どもの村」の理念を基本とする団体で、日本国内では福岡県に次いで2例目となるもの。里親制度を活用し、施設内に建設された住宅で子どもたちに育親による家庭養育と専門的な支援を提供するほか、一時預かりや相談業務を行うもので、昨年12月に開村式が行われた。

この2件は、昨年の新規事業だが、このほか一昨年から継続事業として、震災で親を亡くした子どもたちへ学資支援活動を行うNPO法人「東日本大震災子ども未来基金」への寄付、幼稚園等に救命胴衣を贈る活動を行っている団体「きぼう」への寄付がある。

ファン感謝デーによる資金確保と継続支援

こうした寄贈資金を確保するため、宮遊協では一昨年から「東日本大震災被災地復興支援」をサブタイトルに掲げた遊技客に感謝の意を伝えるためのイベント「みやぎパチンコ・パチスロファン感謝デー」を6月の3日間、実施している(昨年は20日～22日)。期間中にファンに提供する商品を参加各ホールに購入してもらうが、その商品セットには、1セットにつき復興支援寄付金3000円が含まれており、それが寄贈資金となっている。また、セット商品自体に県内の特産品を取り入れているが、これは被災地の産業の復興支援につなげることが目的である。



幼稚園に救命胴衣を寄贈する団体「きぼう」を支援

このほか、高齢者を対象にしたものでは、特殊詐欺被害の防止を目的に、地域防犯活動費として公益社団法人宮城県防犯協会連合会に活動資金を寄贈した。宮城県では、昨年、電話やメールなどで金をだまし取られる特殊詐欺の被害額が約10億2400万円と初めて10億円の大台を超えたが、被害者の多くは高齢者であることから、その防止対策に役立ててほしいという思いから、寄付を決めたという。

さらに、宮遊協では、宮城県暴力団追放推進センター、みやぎ被害者支援センター、日本盲導犬協会仙台訓練センターなどに活動を支援するための寄付を行っている。これらは、いずれも継続的に実施されているものだが、宮遊協ではこうした支援は一定期間、継続してこそ効果を挙げることができるという考えのもと、取り組みを行っている。こうした活動は、宮城テレビや「河北新報」などの地元の主要メディアでもたびたび取り上げられている。



「みやぎパチンコ・パチスロファン感謝デー」の告知チラシ